

定期監査結果報告書

第1 監査の概要

1 監査の実施日

平成31年1月9日・10日

2 監査の対象等

住吉小学校、中央小学校、自彊小学校、吉田中学校（所管課：学校教育課）

3 監査の事項及び範囲

平成30年4月1日から平成30年11月30日までに執行された事務事業とした。

4 実施した監査手続き

監査にあたっては、法令に基づき、財務に関する事務が適正かつ効率的に、経営に係る事業の管理が、合理的かつ効率的に行われているかどうかにかんして主眼をおき、あらかじめ指定した監査資料、提示のあった関係書類及び関係帳簿を審査するとともに校長及び関係職員から説明を聴取するほか、質問その他必要と認めた監査を実施した。

第2 監査の結果等

各校の監査の結果等は、後述のとおりである。

なお、一部の事項については、それぞれ口頭で注意、指導を行った。

(注)○ 文中のうち、千円単位で表示されているものは、単位未満は四捨五入とした。したがって、合計額が一致しない場合がある。

○ 比率(%)は、原則として小数点以下第2位を四捨五入し、第1位までとした。

○ 歳入における、収入率の算式は(収入額/調定額×100)である。

○ 歳出における、執行率の算式は(支払額/予算現額×100)である。

1 住吉小学校

(1) 事務事業の概要

ア 平成30年度 学校経営

(ア) 学校経営構想

経営目標：「信頼にこたえる学校」

力を伸ばす・寄り添う・連携

(イ) 学校教育目標と重点目標

a 学校教育目標 豊かな心 学ぶ力

b 重点目標 気づき 考え 高めあう子

イ 学校安全指導

(ア) 安全指導

(イ) 安全管理

(ウ) 非常災害計画

ウ 地域との連携

エ 学校保健統計

オ 職員数は56人(うち、育休4人、ALT1人)である。

カ 学級数・児童数は次のとおりである。

学年	学級数	児童数(人)		
		男	女	合計
1	3	41	46	87
2	3	47	39	86
3	3	34	39	73
4	3	44	38	82
5	3	50	36	86
6	3	54	43	97
特別支援	3	11	5	16
合計	21	281	246	527

キ 事務事業の執行状況は、次のとおりである。

(ア) 歳入

a 雑入・教育費雑入

収入額は19千円で収入率は100.0%である。

全額、蛍光灯買取料である。

(イ) 歳出

小学校費の支払額は17,113千円で執行率は52.8%である。

a 住吉小学校維持管理費

支払額は 17,098 千円で執行率は 52.9%である。

主なものは臨時職員賃金 1,683 千円、特定消耗品費 1,482 千円、教育材料費 539 千円、修繕料 910 千円、電気使用料 1,599 千円、水道使用料 844 千円、パソコン等保守点検手数料 814 千円、その他役務費 1,120 千円、警備保障業務委託料等委託料 537 千円、パソコン借上料等使用料および賃借料 4,992 千円、備品購入費 888 千円である。

b 住吉小学校特別支援学級費

支払額は 15 千円で執行率は 22.2%である。

ク 「吉田町立小・中学校備品取扱いの手引」に則って、備品管理が行われているかについて新規購入備品の実査を行った。

(2) 監査結果

財務に関する事務についておおむね適正に、経営に係る事業の管理についても、おおむね合理的に行われている。

2 中央小学校

(1) 事務事業の概要

ア 平成 30 年度 学校経営

(ア) 学校経営方針

a 校訓

「誠・明・健」

b 学校経営目標

～三つの根を培い、支える土を醸成する～

(イ) 学校教育目標と重点目標

a 学校教育目標 たくましい子

b 重点目標 自ら動く

(ウ) 学校経営の重点

a 子どもが「学びの根」「心の根」「命の根」を培いながら、学ぶ楽しさと自己の成長を実感する学校を創る

b 勤務環境改善に努め、教職員が互いに学び合う同僚性と個々の持ち味を発揮し、保護者や地域から信頼される学校を

創る。

イ 安全教育

(ア) 全体計画

(イ) 平成 30 年度学校安全教育計画

(ウ) 校内安全点検について

ウ 地域社会との連携

エ 学校保健統計

オ 職員数は 59 人(うち、育休 2 人)である。

カ 学級数・児童数は次のとおりである。

学年	学級数	児童数(人)		
		男	女	合計
1	4	56	56	112
2	3	50	52	102
3	4	62	65	127
4	4	67	44	111
5	4	57	60	117
6	5	84	64	148
特別支援	2	10	2	12
合計	26	386	343	729

キ 事務事業の執行状況は、次のとおりである。

(ア) 歳入

a 雑入・教育費雑入

収入額は 21 千円で収入率は 100.0%である。

全額、蛍光灯買取料である。

(イ) 歳出

小学校費の支払額は 19,648 千円で執行率は 55.7%である。

a 中央小学校維持管理費

支払額は 19,623 千円で執行率は 55.8%である。

主なものは臨時職員賃金 1,961 千円、特定消耗品費 2,197 千円、教育材料費 884 千円、修繕料 3,233 千円、電気使用料 2,269 千円、水道使用料 669 千円、医薬材料費 279 千円、通信運搬費

305 千円、パソコン等保守点検手数料 866 千円、その他役務費 1,158 千円、警備保障業務委託料等委託料 532 千円、パソコン借上料等使用料及び賃借料 4,601 千円、備品購入費 944 千円である。

b 中央小学特別支援学級費

支払額は 25 千円で執行率は 25.1%である。

ク 「吉田町立小・中学校備品取扱いの手引」に則って、備品管理が行われているかについて新規購入備品の実査を行った。

(2) 監査結果

財務に関する事務についておおむね適正に、経営に係る事業の管理についても、おおむね合理的に行われている。

3 自彊小学校

(1) 事務事業の概要

ア 平成 30 年度 学校経営

(ア) 学校経営方針

「未来へ続く温かな学びの場」の創造をめざして

(イ) 学校経営目標

a 学びのおもしろさを味わい、学びがいを感じる魅力ある授業づくりを推進する。

b 一人一人の成長への願いをもち、子どもに寄り添い、自尊感情や思いやる心を育む。

c 子どもの発想から出発し、子どもが主体となって教師と共に活気ある学校をつくる。

d 創意と挑戦の精神のもと、教職員一人一人が持ち味を発揮し、組織的な教育を展開する。

e 家庭や地域社会との連携を図り、相互の理解を深めて、「おらが学校」としての信頼に応える。

(ウ) 学校経営の重点

a 学びのおもしろさや、学びがいを実感させる魅力ある授業づくりを推進する。(自己や他者を幸せにする力=「生きる力」を育む)

- b 自分で考え、的確に判断し、最後までやり抜く子どもを育てる。
- c 自分を信頼し、他者へ優しさを広げる思いやる心を育てる。
- d たくましさを育てる。
- e 地域とともにある学校づくりを推進する。
- f 先進校の取組を参考に、職員育成と業務改善（勤務環境改善）を推進する。

(エ) 学校教育目標と重点目標

- a 学校教育目標 自らつとめ はげむ子
- b 重点目標 気づき 考え 行動する子

イ 防災安全管理状況（防災計画）

- (ア) 火災消防計画
- (イ) 地震防災対策
- (ウ) 風水害対策
- (エ) 児童引渡し
- (オ) 学校警備

ウ 学校保健統計

エ 職員数は43人（うち、育休2人）である。

オ 学級数・児童数は次のとおりである。（平成30年5月1日現在）

学年	学級数	児童数(人)		
		男	女	合計
1	2	37	27	64
2	3	39	43	82
3	3	40	35	75
4	2	23	45	68
5	3	46	34	80
6	2	33	32	65
特別支援	2	7	6	13
合計	17	225	222	447

カ 事務事業の執行状況は、次のとおりである。

- (ア) 歳出

小学校費の支払額は 15,173 千円で執行率は 49.8%である。

a 自彊小学校維持管理費

支払額は 15,135 千円で執行率は 49.9%である。

主なものは臨時職員賃金 1,723 千円、特定消耗品費 1,716 千円、教育材料費 541 千円、修繕料 1,206 千円、電気使用料 1,373 千円、水道使用料 635 千円、パソコン等保守点検手数料 866 千円、その他役務費 1,790 千円、警備保障業務委託料等委託料 507 千円、パソコン借上料等使用料及び賃借料 3,540 千円、備品購入費 845 千円である。

b 自彊小学校特別支援学級費

支払額は 38 千円で執行率は 43.8%である。

キ 「吉田町立小・中学校備品取扱いの手引」に則って、備品管理が行われているかについて新規購入備品の実査を行った。

(2) 監査結果

財務に関する事務についておおむね適正に、経営に係る事業の管理についても、おおむね合理的に行われている。

4 吉田中学校

(1) 事務事業の概要

ア 平成 30 年度 学校経営

(ア) 学校経営目標

- a 生徒が学ぶ喜び、できた達成感を実感する授業づくりを推進し、確実に知識・技能を定着させる。(わかる・できる授業)
- b 夢・目標をもち、その実現に向かう生徒を育成する。(授業、家庭学習、総合的な学習、進路指導の場面で実践)
- c 生徒に付けたい力を意識した組織的な分掌運営を推進する。

(イ) 学校経営の重点

- a 授業で学ぶ喜び・できた達成感を実感し、知識・技能を定着する生徒の育成。
- b 夢・目標をもち、その実現に地道に向かう生徒の育成
- c 「優しさと思いやり」のある生徒の育成
- d 「自己肯定感」を育む生徒の育成

- e 教職員がゆとりをもち生徒と向き合える職場の創造
- (ウ) 学校教育目標と重点目標
 - a 学校教育目標 「活力あふれる 吉中生」
 - b 重点目標 「自ら学び 共に未来へ」

イ 学校安全指導

- (ア) 学校安全指導
- (イ) 交通安全指導
- (ウ) 防災対策
 - a 防災組織
 - b 災害による緊急時の対応
 - c 防災学習計画
 - d 事故対応

ウ 学校保健統計

エ 職員数は 82 人である。(うち、産休 1 人、育休 3 人、ALT 1 人)
(平成 30 年 11 月 26 日現在)

オ 学級数・生徒数は次のとおりである。(平成 30 年 11 月 26 日現在)

学年	学級数	生徒数(人)		
		男	女	合計
1	7	116	122	238
2	8	146	118	264
3	8	141	133	274
特別支援	3	18	3	21
合計	26	421	376	797

カ 事務事業の執行状況は、次のとおりである。

- (ア) 歳入
 - a 雑入・教育費雑入
収入額は 21 千円で収入率は 100.0%である。
全額、蛍光灯買取料である。
- (イ) 歳出
 - 中学校費の支払額は 28,546 千円で執行率は 52.7%である。
 - a 吉田中学校維持管理費

支払額は 28,468 千円で執行率は 52.7%である。

主なものは臨時職員賃金 2,527 千円、特定消耗品費 2,716 千円、教育材料費 886 千円、修繕料 1,718 千円、電気使用料 2,928 千円、上下水道使用料 1,135 千円、医薬材料費 792 千円、冷暖房装置保守点検手数料 821 千円、パソコン等保守点検手数料 944 千円、その他役務費 2,333 千円、警備保障業務委託料等委託料 664 千円、自動車借上料 949 千円、複写機借上料 647 千円、教育用パソコン借上料 1,807 千円、備品購入費 2,661 千円である。

b 吉田中学校特別支援学級費

支払額は 78 千円で執行率は 52.8%である。

キ 「吉田町立小・中学校備品取扱いの手引」に則って、備品管理が行われているかについて新規購入備品の実査を行った。

(2) 監査結果

財務に関する事務についておおむね適正に、経営に係る事業の管理についても、おおむね合理的に行われている。